

# 種子は殻の相続人になってはならない

ロサンゼルス カリフォルニア州 アメリカ合衆国

1965年4月29日 朝食

1 デモ兄弟、どうもありがとうございました。そして今、私たちは今朝ここにおいて、これらの素晴らしい人々からこれらすべての素晴らしい証を聞くことができ、幸せです。そして今、私たちは神が私たちと一緒にいて、私たちを祝福してくれると信じています。

さて、今夜、私は今夜、御心により話すことを理解しています。そして、少し前にシャカリアン兄弟に尋ねて、言いました「今、恥ずかしさを感じないでください。私たちは11時にここから出なければならないことを知っています。私はここに上がると時間の感覚を失ってしまいます。」

私たちの残りのすべてがそうであるように見えます。私たちは感じています…彼らは「2分、3分、または…」と言います。スミス兄弟、ご存知のように、2、3分でそれを行うのは難しいです。そして、私はそれがどのようであるかを知っています、そして私は一人一人を気の毒に思います。しかし、私たちは今いる時代にいます。私たちは永遠に行きますが、今は間に合っています。

そして私は、「デモス兄弟は、時間の少し前に、恥ずかしさを感じることはありません。コートを引っ張るだけで、それが止まる時間だとわかります。」と言いました。さて、私が終わらないなら、私は今夜終わります。ですから、もしそうなら、今夜の新しいテキストがあります。

2 さて、本を開く直前に、頭を下げて著者と話しましょう。

親愛なる天のお父様、私たちは今朝、この集まりについて、私たちがすでに聞いたことをあなたに感謝します。主よ、私たちが今、その祝福をただ通過するならば、ここにいたことは良かったと感じます。ですから、もしそれがあなたの目に良いものであるならば、あなたが続けて、私たちと一緒にいて、私たちを助けてくれることを祈ります。そして今、私たちはみことばの周りに集まります。私たちはお互いの交わりの周りに集まり、あなたが私たちのためにしたこと証を聞いて、今、私たちはみことばに戻って、これらすべてがどこから来ているのかを見つけましょう。そして、それは私たちが今日起こっていることを感じ、見ていることの確認となるでしょう。イエス・キリストの御名によってこれらのことを認めてください。アーメン。

3 さて、彼の僕として、私はメッセージを受け取る義務があります。そして、私は時々、過去に非常に誤解されてきました、そしておそらく常にそうなるでしょう。しかし、私は時々物事がそうであるとは言いません。違うように、私はそれらを正直に言うのです。そして、私は自分が正しいと思うことを言いたいです。誰もが自分の意見を表明する権利を持っています。だから私はあなたがたの中にいます。

そしてシャカリアン兄弟、プレイヤーラインのプレイヤーカードについて話し、聖霊が何をされているのかを見て…さて、彼は私についてそれを言いませんでした。それは聖霊についてです、なぜなら私はそれらのことをすることができなかつたからです。私にはできなかつたことを誰もが知っています。しかし、それはマイナーな側面です。ここに表示されているものです。あなたは他の場所に出て、彼が物事をどのように予告しているかを見るべきです！そして、私は…起こること、それは、これらはただ…あなた、あなたがそれをする人なのです。あなたは神を信じる人です。

4 そして、もしあなたが神を信じていないなら、覚えておいてください、神はこの説教壇でそう言われます。そして、あなたが罪を犯しているなら、彼はあなたにそう言われるのです。そして、あなたがしたこと、すべきではなかつたことを、彼はあなたにそう言われます。それは彼らがプレイヤーカードに書いたものだけではありません。彼らは彼らのプレイヤーカードを置くことができました…彼らはそこでは彼らは「罪人」であり、この女性は「間違った夫と一緒に住んでいる」などとは言いませんでした。そして、彼らはそれをプレイヤーカードに載せませんが、聖霊はとにかくそれを手に入れていますね。わかりますか？そして、それは今(どのように)、超自然的な部分、友人たちにあります。

そして、私はこれを立派に言います。なぜなら、今朝ここにいる私たちの数は少なく、小さなグループだけです。それは私を驚かせます、それが私をとて緊張させるまで、私は時々ただ叫びたくなるような気がします。そして、私が山腹のある場所に座って、そこで多くの時間を過ごし、神から受け取り、降りてきて、神が私に与えてくれたものを人々に配ります。そして私は一人と違うことをしたくありません。しかし、それでも、正直に言うと、私はメッセージに対して神に正直でなければなりません。

5 そして今、私たちは主の意志で、ほんの数日で、そしてそれが主の意志であるならば、すぐに海外ツアーに出発することを決意しています。私は確かにあなたの祈りを求めます。

あなたはとても素敵です!私は話をするようになり、他の人たちと同じように、時間のことをすべて忘れてしまいます。しかし、シャカリアン兄弟、このプラットホームにいるこれらの立派な牧師たち、そしてそこにいるあなた方すべてのイエス・キリストの友人たちに、私は彼の名においてあなた方に敬意を表します。として—あなたと、十字架によって、神に、兄弟姉妹である仲間の親族として。

私は今朝、聖書の中で、ガラテヤ人への手紙を、御心であれば開きたいと思います。ある聖句を読みたいのです。

6 さて、昨夜、この説教壇で私たちの牧師の兄弟から出されたメッセージを聞いて、彼は異言で話しました。ブレデセン、ブレデセン兄弟、とても立派な人。私は…

私の非識字と教育、言葉による理解の欠如、そしてメッセージが真実であることを知っていることでこれを見て、先日そのパネルにいて、そこに立っていて、その知的タイプを満たすことができるような男性を見る。彼らは主が私に言われたことをすることができないかもしれません。私は主が彼らに言われたことをすることはできません。しかし、私たちが一緒に働いているので、私たちが神の御前にとどまるならば、私たちはメッセージを乗り越えることができると確信しています。

そして彼が昨夜ここで証言をしたとき。そして、聖霊は異言で話しました、そして、聴衆の中の誰か、私はいつもそれを畏敬の念を抱くことを知っています。なぜならば、私は聖書によって、それが私たちに何かをもたらす神の霊であることを理解しているからです。そして彼は言った、後の雨、前の雨、そして後の雨について話しました。そして、それは私に会える考えをもたらしています。

7 ボナム兄弟が私にいくつかのチェックが入った小さなパッケージをくれたところですが、「これは…人々からの愛の献金です。」と言いました。さて、彼一彼、彼らはそれをするべきではありませんでした。ほら、私はその目的のためにここに来たのではありません。しかし、私は…彼、彼らは私にそれを与えます、そしてもちろん、それはありません…それを返す方法はありません。そして、御心ならばそれを受け取り、海外に行くために私の費用に充てるようにします。なぜなら、私は後援されていないので、私が行くことになっている場所への費用はないのです。

教会が私を入れないので、それは一種の秘密です。そして、それは私の主にあるので、私はハンターとして入ります。主はそれをするために私の心にそれを置かれました、そして私は一種の変装の下に行かなければなりません。分かりますか?だから彼らはそこに少し面白い考えを持っています、それぞれが私にカードに署名して欲しい、私は彼らが信じていることについて彼らに同意し、この他のグループは間違っていると言います、そしてこのグループは彼らが私を連れてくると言っていますこのグループは間違っていると言います。分かりますか?しかし、私はそれが好きではありません。ほら、私たちは…

私はいつも、組織の外の人々とその違いの間に立ち、今朝この兄弟たちを通して神の御霊が言っているように見えたものに、私たちは宗派ではないことを呼びかけようと思いました。私たちは家族の子供達なのです。現在、ブラナム宗派はありません。ブラナム家があり、私たち全員がその家族に加わるのではなく、その家族の中で生まれています。そして、私は、それを表現しようとしています。私が知っている中で最高のものです。

8 ガラテヤ人への手紙第4章27-31節で、私はここに印を付けたと思います。これをテキストとして読みたいと思います。

すなわち、こう書いてある、「喜べ、不妊の女よ。声をあげて喜べ、産みの苦しみを知らない女よ。ひとり者となっている女は多くの子を産み、その数は、夫ある女の子らよりも多い」

兄弟たちよ。あなたがたは、イサクのように、約束の子である。

しかし、その当時、肉によって生れた者が、霊によって生れた者を迫害したように、今でも同様である。

しかし、聖書はなんとやっているか。「女奴隷とその子とを追い出せ。女奴隷の子は、自由の女の子と共に相続をしてはならない」とある。

だから、兄弟たちよ。わたしたちは女奴隷の子ではなく、自由の女の子なのである。

主が今、彼の尊い御言葉に彼の祝福を加えてくださいますように。

9 昨夜、いくつか書き留めておきました。かつては、週に1回だけ集会を開いたとき、どこかで、それらの聖句を心の中で同じようにはっきりと覚えていました。しかし今、私が…さて、私が少し冗談めかして言うように、私はこの説教壇でここで冗談を言うつもりはありません。しかし、25歳を過ぎた後、2回目は以前のように覚えていません。たくさんあります…この古いフォードは何マイルもあるので、覚えていません。しかし、私が動くことができる限り、私を救った彼のゆえにあらゆる動きに彼の栄光を与えたいと思います。

さて、私は、今朝それを見て、見て…おそらくこれは奇妙に思えるかもしれませんが、知的な考えでは完全に混同されているかもしれませんが、それは私が求められていることを補完するものです。どんな小さなことでも私へのしるしです。私はそれを見て、それがどのように動くかを見てください。それが私がいつか私のメッセージを受け取る方法です。御霊がどのように動くかを見て、そしてそれが何を言っているかを見ることです。

10 そして、あなたは何度も、癒しの礼拝の前に、プラットホームに立ったり、座ったり、見たりして、私に気づきました。私は御霊とその動き方を感じており、そこに座っているその人の問題はすでにわかっています。わかりますか？見てください、ここで、見てください、あなたは説教壇に行く前でさえそれを捕まえます。

時々、私が集会に来る前に、時々、カリフォルニアのようにここに来る前に、私は一緒にいる人々と一緒に話しました。「あることが起こるでしょう、これはここで起こります、そしてこれはここにいると、こちら側に行きます」と言います。なぜなら、それが神の御霊の中にあるからです。彼は…彼は最初からすべてのことを知っていたので、見てください、そして彼は永遠のものです。

11 そして今朝、私たち全員にとって非常に貴重な友人であり兄弟であるジュエル・ローズ兄弟が、どのようにして立ち上がってその詩篇を読んだかに気づきました。彼が言ったように、「あなたにどんな種類の種がぶら下がっているのか見たい」と言ったように、それがどのようにしっかりと絡み合っているかを見てください。昨夜、御霊は話し、そして「後の雨、前と後の雨、両方とも終わりの日に注ぎ出されている」と言われました。そして今朝、「あなたにぶら下がっている種(子孫)」。ほら、御霊が話しているのを見て、今朝、これらのミニスターたちを通してそれがどのように行われたかなどを見てください。したがって、私はこの主題を取り上げています。子孫は殻の相続人であってはならない。

それは非常に奇妙なテキストですが、その子孫は殻の相続人であってはなりません。そして、ガラテヤ人への手紙第4章27節、3節から、これについての私の結論、または私のテキストを引き出して、ここでパウロはもちろん、アブラハムの2人の息子の文字通りの子孫について語っています。さて、これをあなたが見失うことが確かにならないように使いたいです。そして、時間が経つと、今夜それを受け取ります。そして、私は日曜学校のレッスンのように教えたいので、あなたがよりよく理解できるようになると信じています。

12 そして私は…そして、あなた方の何人かは、私よりもこれを行う能力があります、つまり…私は決して神学者ではありません。ですから、これについて私に同意できない場合は、昨夜、この親愛なる姉妹が私にチェリーパイを焼いたときのように感じてください。今朝、ホテルの部屋に座って種にあたりましたが、まだパイを食べています。種を置いたところですね。だから、それはあなたがそれについて信じていないことです、ただ脇に置いて、見て、そしてあなたが正しいと思うものを食べ続けてください。

13 さて、パウロはアブラハムの2人の息子について話しています。そのうちの一人はサラによるもので、もう一人はハガイによるものでした。今、私たちはここで見つけます、そして私たちは聖書を通して、神が二人で表されることは決してないことを理解しています。3つあります。常に3つで、神は完成されます。

聖書の数学は完璧です。神は3つで完成され、7つで崇拜されるなどです。ほら、そうです、聖書の数学は決して失敗しないことがわかります。

そして、私たちはここにアブラハムの2人の息子を迎えました、私たちが相続人になることができるのは、私たちがそれらの息子の1人、またはアブラハムの息子である場合に限りです。「私たちがキリストの中で死んでいるので、私たちはアブラハムの子孫になり、約束に従って彼の相続人になります。」したがって、アブラハムにはもう一人の息子がいるに違いありません。

さて、彼の長男はハガイによるものであり、次男はサラによるものであることがわかりました。しかし、彼には三男がいました。それがイエスでした。さて、それは奇妙に思えるかもしれませんが、それを分解しようとしています。私が言ったように、神は常に完璧で、3つの形でご自身を表されます。そして、私は今までに、そして特にあなたの神学者に、これらのことは私がそれを見る方法であり、それが私に来る方法であることを明確にしました。

14 初めのように、神は一人で住んでいました。なぜなら、彼は永遠のものだったからです。ほら、神でさえありませんでした。神は「崇拝の対象」です。そして、ロゴス(言葉)は、私たちがそれを呼ぶように、神から出た言葉、それは、それが荒野を通してイスラエル人に続いた主の天使、または主の言葉であることを誰もが知っています。契約の天使、神から出たロゴス(言葉)。そして、そのロゴス(言葉)は肉体化され、私たちの間に宿っておられる。今、私たちはヨハネによる福音書1章にいます。「初めに言葉があった、言葉は神と共にあった、言葉は神であった。」そして今、彼が私たちのために彼の命を与えたとき、彼の霊が私たちに戻ってきます。イエスは言われました、「その日、あなたは私が父の中において、父が私の中にいることを知るでしょう。私はあなたの中において、あなたは私の中にいます。」

ほら、それはずっと神であり、神はご自身を現し、さまざまな時代を通してご自身で働いておられます。ですから、父、子、聖霊の3つは、同じ神が3つの属性で働いています。そして今日、私たちは一つであり、教会そのものであり、天地が創られる前の神の考えの属性であり、教会を持つことです。ですから、キリストにある人々は初めにキリストの中にいました、それは彼の考えでした、そして彼の考えは彼の属性です。

15 ここで、約束の中で種が始まります。そして、このアブラハムはイシュマエルによって少し疑っていました。そして、私たちが話そうとしているこの種子の、これらの3つの段階をお見せしたいと思います。これは殻の相続人ではありません。さて、この初めに、神がアブラハムに約束を与えたことがわかります。

彼は最初にアダムに約束をしました。そして、それは、または、契約は条件付きでした。「これをしない場合。あなたがこれをするなら。」

しかし、彼がそれをアブラハムに与えたとき、それは無条件でした、「私はすでにそれをしました」。彼は決して…彼がしたこと、それは無条件でした、彼はアブラハムに与えました。さて、そしてそれを通して、アブラハムは約束を持っているので、私たちはアブラハムの子孫でなければなりません。「それはアブラハムだけでなく、彼の後の彼の子孫にもありました。」お気づきの方もいらっしゃると思いますが、それは彼の後の「種」ではなく、彼の後の「子孫」の事でした。

さて、その約束はサラに少し疑われており、サラはアブラハムにエジプトの若い女性であるこのハガイを妻として連れて行くように言いました。それが神がこの約束された子孫を育てる方法になるでしょう。

16 さて、あなたは、私が昨夜言ったように、神のその最初の計画からのどんな動きもすべてをあつていないものから捨てるのがわかります。その元の言葉から動くことはできません。…私たちは昨夜、または前夜に、むしろバラムについて話しました。彼は神の答えをまっすぐはっきりと得ました、「行くな!」しかし、神には黙認的なご意志があります。そして、あなたが望むなら、あなたはその中で働くことができます、そして神はそれを彼に敬意を表させるでしょう、しかしそれでもそれは神の完全な意志ではありません。そしてそれが私たちが努力すべきことは、彼の黙認的なご意志ではなく、彼の完全なご意志です。彼が…今日地球にいる神の王国は…決して黙認的な意志で正しく設立されることはできません。それは彼の完全な意志に戻らなければなりません。

17 さて、ここでサラは、神がアブラハムに子供はサラを通して生まれ、それは世界を祝福するだろうと告げた後、サラはそれを疑ったことがわかります。私はあなたに気づいて欲しいです、それはアブラハムによって決して来ません。しかし、女性のサラによって。そして彼女はそれを疑って、「ハガイを取りなさい」と言いました。そしてアブラハムはそれをしたくありませんでした、しかし神は彼に先に進んでとにかくそれをするように言われました。それで彼はそれをしました、少し疑っていました。さて、イサクは自由で約束された女性から生れたので、疑いの余地のない絆の女であるイシュマエルの相続人になることはできませんでした。

それがパウロがここで言おうとしていたことです。ほら、一つのことが疑われ、それが神の特定の事柄、神の特定の秩序を破壊しますが、それは神の本来の秩序と相続することはありません。わかりますか?ほら、相続人になることはできません。

18 さて、それが今日私がとても強くなっている理由です。そして、私は今が良い時期だと思いました。なぜなら、私たちがどれほどこれから先長く一緒にいられるのかわからないからです。おそらく、私が組織化された宗教をしっかりと非難する理由を神があなたに示すのを助けてくれるかもしれません。わかりますか?ほら、組織は神のものではないので、それは神の元のプログラムの相続人になることはできません。それは人間のものです。全世界で最初に組織された教会は、ローマのニカイアにあるローマカトリック教会でした。黙示録17章には、「淫婦どもと地の憎むべきものらとの母」と書かれています。そして、大淫婦は夫に忠実に生きていない女性であり、淫婦も同じです。しかし、ご覧のとおり、とにかく教会になりました。それは組織化さ

れたシステムであり、兄弟愛を分離します。私たちはすべての教会を一緒に組織しようとしていました。それは機能しません。決してうまくいきませんでした。それは(決して)うまく行きません。世界教会公会議、彼らはただ…彼らは神のプログラムから外れています。

19 さて、あなたは「あなたは誰ですか、文法学校の教育さえ受けずにそこに立っているのですか?」と言います。それは何の違ひもありません、教育が何であるか。それは私が話そうとしている私の教育ではありません。

それは私が話している神の言葉です、ほら。そして、あなたがミニストリーで見るこれらの立証は、私ではなく、神があなたにそれを届けようとしているのです、それが真実であるということです。神は嘘と何か関係があるのでしょうか?そして私から遠く離れて、嘘を祝福する神に仕えているのです。それが彼が祝福する真理、彼が栄誉を与えている真理なのです。

20 さて、イシュマエルはイサクの相続人にはなれませんでした。少し疑われていたからです。それは子供でした、それはまだアブラハムの子孫でしたが、それに対する神の完璧な方法ではありませんでした。イシュマエル。今、私はここで多くの時間を過ごすことができましたが、聖霊がこれを本当の方法であなたに伝えてくれることを願っています。さて、もし彼らが…

神の元の計画が神の黙認なざる計画、神が祝福した黙認なざる方法に置き換えられたためにイシュマエルとイサクと一緒に相続人になることができなかつた場合、今日の霊的な教会も宗派の相続人になることはできません宗派、神は彼がイシュマエルをしたように彼らを祝福しました、しかし霊的には他の人たちと相続することはありません。そうです。教会の宗派(いわゆる教会、自然の教会)から出て、選ばれたキリストの花嫁が来るでしょう。

21 さて、この時間に私を悩ませているのは、これらすべての宗派が私たちが知っているものをこれに引き込んでいるのを見ていることを知っていることです…あなたが後の雨と呼ぶもの、または、御霊から注がれています。イエス様が「それが実現すれば、それで終わりだ」と言われたことをご存知ですか?愚かな処女と賢い処女と一緒に相続人ではなかつたとき。いつのために…愚かな処女、彼女は処女で、ただ油が足りなかつたのです。しかし、彼女が油を買いに来たとき、その時に、花婿が来ました。そして、彼女が油を買おうとしている間に、彼女は取り残されました。わかりますか?[会衆は「アーメン」と言います。一編集]私はそれを染み込ませて欲しい、本当に良い。さて、確かに私はその主題をこれ以上動かす必要はないでしょう。さて、霊的なものも自然なもののもどちらも一緒に相続人になることはできません。

22 だからこそ、携挙、花嫁、賢い処女、召喚された者、あらかじめ定められた者、選ばれた者たち!つまり、あなたがたビジネスマンは、神が彼のプログラムを無計画に実行していると考える人がいるように、あなたのオフィスを運営しないでしょ。神は、世が築かれる前に、誰が救われ、誰が救われないかをご存知でした。教会が始まる前に、あらかじめ定められて、予知によって、彼はすべてのメンバーを見て、子羊の命の書にすべての名前を載せました。イエスはその書に書かれていたものを求めて救うために来られました。彼は贖いの書を買いました。それは失われ、彼は私たちが贖われました、そして彼が私たちが贖われたときにその書が贖われたその書にすべての名前がありました。

23 そして、私が何度も言ったように、あなたがたはそれを認識しています。それがあなたが今朝ここにいる理由であり、あなたがこれらすべての組織や物事から出てくる理由です。あなたは…あなたを引っ張っている何かがあります。私の小さな考えがそうであったように、雌鶏の下で孵化したワシについて、ほら、あなたは何か違うことに気づきました。その教会には満足のものはありませんでした。しかし、あなたは、悲鳴である何か他のものを聞いた、あなたはあなたがそのために生まれたことに気づいたのでした。あなたはその一部です。あなたは、手の手袋のように、それにはまります。だから今朝ここに集まるのは、昔の南部のママが言っていたように、共通点があるから「羽の鳥が群がる」からです。

ノスリとハトには共通点はありません。彼らの食事は異なりますが、鳩はノスリの下で孵化する可能性があります。そうです。そもそもそれが何であったかによるのです。さて、そしてその中で、鳩はそのノスリがしばらくの間母親になる必要があるかもしれませんが、最終的に彼は彼の相手を見つけましょう。

24 それが今日教会がしていることです。なぜなら、イエスはみことばであり、彼は花婿であり、花嫁は花婿の一部だからです。したがって、この時代に成就されるみことばは、彼の時代に成就されたみことばの同じ部分であり、同じみことば、同じ経験、同じ命なのです。

なぜなら、神がアダムを引き離したとき、彼は両方だったからです。そもそも、アダムは霊でした。「彼は

彼自身のイメージで人を作り、彼を男性と女性に創造しました。」そして、創世記2章以降、彼は…地の塵から人を創造しました。人は神のかたちで造られたので(神は霊です)、彼は霊の人です。それから彼が肉の人、地球上の動物の肉になるとき、彼はそうです—彼はここで花嫁を描写して見せています。彼は決して別の存在を取り、作ったことはありませんでしたが、彼は最初の創造物であるアダムの一部を取り、彼から、彼の側から肋骨を取りました。そしてアダムから女性の霊を取り除き、男性の霊をそこに残し、それを女性の部分に置きました。したがって、彼の霊の一部、彼の体の一部。彼の肉の肉、彼の骨の骨。彼の言葉の言葉、彼の命の命、そしてそれが花嫁がキリストにあるあり方なのです!

だからこそ、王室の子孫の携挙が最初に来なければならないのです。そして、残りの死者は千年も生きていないので、彼らは白い御座の裁きに連れて来られました。ほら、王室の子孫、または予定されていたアブラハムの子孫に対する裁きはありません。さて、ヨハネによる福音書5:24を取るなら、これを聞いてください。「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命がある」。

25 さて、それは私たちの多くの神学とどれほど大きく異なるのでしょうか? 今、私はここを出て酔っぱらいに「信じますか?」と言うことができました。「もちろんです!」別の男の妻を持つ男、「信じますか?」「もちろんです!」「あなたは昨夜の集会に座って、みことばを聞きましたか?」「もちろんです!」「あなたはそれを信じますか?」「もちろんです!」彼はただそれを言っているだけです。

しかし、このみことばの本来の解釈は、「わが言葉を理解し、わたしを遣わした方を信じる者」です。「理解する者」、つまり誰に知らされるのか。

イエスは言われました、「私の父が彼を引き寄せない限り、だれも私に来ることはできません。そして、私の父が私に与えたすべてのものは、彼らが来るでしょう。私の羊、私の鳩、私の声を聞いてください。彼らは見知らぬ人には従いません。」そして、神の声とは何ですか? 神の言葉です。彼の言葉以外の男の声は何ですか? それは神の言葉です。彼らは神の言葉を聞くでしょう。

26 したがって、自然の子孫は、最初にイシュマエル、次にイサク、次に子孫に至るまでの単なる運搬人でした。とうもろこしの茎、房、殻のように。さて、ここで、子孫の3つの段階は、今朝私と一緒に気づいてほしい本物の姿を示しています。私たちはここで見えています。

そして、教育を受けていないので、私が知っている霊的なものをタイプするために、私が見ている自然なものをとらなければなりません。なぜなら、どの文法でもあなたにそれを賢明にすることができなかつたからです。

そして、とにかく、神は常に自然によって霊的なものと類似するのです。聖書がなかったとしても、地球全体が死、埋葬、そして復活を迎えるので、キリスト教が正しかったことを私はまだ知っていたでしょう。自然は死、埋葬、そして復活をもたらします。

樹液が木から出てきて、それがどのように葉をもたらし、果物が落ちるかを見てください。寒い冬のために、土の下で地球に戻ります。春に再び現れ、新しい命が吹き込まれます。毎年、命があり、死があり、復活があることを証言しています。

27 朝日が昇る、生まれたばかりの小さな赤ちゃん、とても弱い。7時か8時に学校に行きます。10時か11時に大学を出ています。約11時から約3時までその強さで輝いていて、それから弱まり始めます。夕方になると、老人が倒れ、衰弱しています。それで終わりですか、死にますか? いいえ。翌朝再び引き上げられるのです。わかりますか?

すべての自然、この聖書で証しするあなたの本当の真の聖書! そして、それが今朝私があなたに見せようとしていることです。自然を通して、あなたは神の言葉にパターン化された神の言葉を見るでしょう。自然は神の形成だからです。

科学のように、彼らは自然の力学と法則を見つけますが、その自然が何であるかを知りません。彼らは自然の生命を知りません。それが神です。したがって、ダイナミクスのない力学は良くありません。

28 さて、茎、房、そして殻に気づいてください。ここでのハガイは、約束の中で始まった最初の人生であった茎を表しています。サラは房を表します、または花粉は房に入ってきます。処女マリアは、真の霊的な種を代表して生み出し、真の真の茎を生み出しました。ハガイとサラ、どちらも性交による事での誕生でした。しかし、処女であるマリアは、神の約束された言葉の力によるものであり、処女の誕生によるものでした。彼女は

本物の子孫を生み出しました。二番目の妻である荃、ハガイは、約束を疑って、少し疑念を乗り越えました。

29 神が私たちを助けてくれますように。私はしません…私はあなたにこれを見て欲しいので、とても悪いのです。あなたはそれのどれかを少し疑うことはできません。あなたはそれをそのままとらなければなりません。解釈は必要ありません。聖書は、「聖書の預言はすべて、自分勝手に解釈すべきでないことを、まず第一に知るべきである。」と言っています。神は御言葉を解釈するために私たちの学校を必要としません。彼がそれを立証し、それを生かすとき、それはその解釈です。神が「光あれ」と言われた時、光がありました。それを解釈する必要はありません。彼が「処女が身ごもる」と言ったとき、彼女は妊娠しました。解釈する必要はありません。

私たちはこれらすべて、その神学校、そして男性を惹きつけるものを必要としません。「まあ、私たちは解釈を得ました。解釈を得ました。」

神ご自身がご自身の言葉を解釈します。彼は彼のために解釈するために誰も必要としません。彼は「それは起こるだろう」と言いました、そしてそれは起こります。彼は、「終わりの日には、彼は彼の霊を注ぎ出すだろう」と言いました、彼はそれをしました。私は宗派が何を言ったかは気にしません。とにかく、彼はそれをしました。なぜなら彼はそれをするだろうと言ったからです。ですから、それは解釈を必要としません、なぜなら神は彼自身の解釈をするからです。

30 そして、あなたが見るこれらのことは、今あなたには不思議に思われます。もしそうなら、覚えています。あなたのミニストリー、あなたがたペンテコステ派は、30年または40年前にさかのぼり、今日のあなたにとっても、メソジストとバプテストの教会にとっても同じくらい謎でした。しかし今、それをみことばの中に見つけてください。私はあなたがそれらを見せようとしたようにあなたに見せようとしています。そして、神が振り向いてそうだとした場合、みことばの中で、それがそうであることを確認した場合、それは神自身の解釈です。誰かがあなたのために解釈する必要はありません。

31 さて、ハガイ、「少し」で！覚えておいてください、そこから一言を取り出すことはできません。そしてイエスは黙示録の中で、本の終わりに言われました。そして、その本の最初に、キリストは「その言葉から一片を奪った人は誰でも！」と言われました。たった一言が誤解され、私たちがこれまでに経験したすべての病気、死を引き起こしました。さて、もし神が聖なる方を見下ろしたなら、そして、1つの言葉をわずかに誤解することによってこのすべての混乱を引き起こしました、そしてその最高の言葉に対するどんな小さなことでもこの混乱のすべてを引き起こしました。そして、この恐ろしいことを彼に和解させるための、彼自身の息子の苦しみ、出血、そして死にかけています。御言葉全体を守ることよりも少ないことをどのように受け入れるのでしょうか。

「まあ」とあなたは言いました、「ブラナム兄弟、それは創世記にありました。」私はそれを感じました、ほら。

しかし、私に言わせてください、黙示録、それは本の最後の部分です。「この予言の書から一言を取り除くか、それに一言を加える者は誰でも、彼の部分は命の書から取り除かれるでしょう。」

32 イエスは本の真ん中で言われました！創世記、新約聖書、そして今日の時代という3人の証人が再びいます。イエスは、「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる」と言われました。

「まあ、彼はそれを意味していませんでした。」

彼は最高の神学者である人々と話していました。それらの司祭、彼らの曾曾曾曾祖父は司祭でなければなりません。一言一言を誤解するのは、なぜ、それは絶対に死刑だったのです。一言を逃すためには、彼らは石で打たれなければなりません。しかし、彼らはそれについて間違った解釈をしていました。したがって、みことば自体が神が救世主を送ると約束し、それが入ると約束した非常に綿密な布でそれを送ったとき、彼らはそれを包むために別の羊飼いを持っていました。

これを言わせてください。それで、今日、彼らはそれを理解していません！それは宗派主義や知性のオクルミの中ではありません。それは権力と復活の群れ、そして復活したキリストの現れ、神が約束された方法の中にあり、人々のそれに対する考えの群れの中にはありません。

33 さて、ハガイは、少しだけ違いがありますが、今はアブラハムではなく、女性を通してです。アブラハムは

それをしたくありませんでしたが、神は彼にそれをさせました。なぜなら彼は…同じこと、彼はバラムを続けさせました。さて、それとわずかに異なることによって、彼女は決して征服されなかった野生の男であるイシュマエルを生み出したことに気づいてください。彼はへりくだって頭を垂れて生きていました。彼は野生の男でした。彼はまだ、今日です。

さて、房、または花粉であるサラ、約束の真の妻であるサラは、優しい人を生み出し、その見返りに約束された国を生み出しました。

さて、しかし、マリア、セックスはありませんが、アブラハムが神の言葉である神から約束を得たのと同じように、約束を通して、「主のはしためを見よ」という約束を信じました。しかし、元々の子孫。彼はアブラハムが信じ、マリアが信じた言葉だったからです。

34 さて、マリアは子孫ではなく、種の殻にすぎませんでした。他の2人は生命の運び手であり、自然の種だけでした。マリア自身は子孫ではありませんでした。しかし、神の言葉への信仰のように、神は言葉だったので、より現実的な言葉のイメージをもたらしました。しかし、殻のように、小麦の…トウモロコシの粒のように、殻は小麦をその中に保持し、それが自力で進むことができるか成熟するまでそれを保護します。分かりますか？それから、彼女を去ったのは子孫そのものでした。ちょうど子孫が彼女の胎内にあったように、彼女は子孫ではありませんでした。彼女は子孫を作り出しはしませんでした。神は種です。

さて、その血は、私たちが救われたのはユダヤ人の血だと多くの人が考えています。そして、彼らの何人かは、「まあ、私たちは異邦人を通して権利を得ました。なぜなら、娼婦のラハブ、そしてモアブ人のルツなど、彼らは異邦人だったからです。」あなたはそれについて全く主張していません、どちらも。彼はユダヤ人でも異邦人でもありませんでした。

35 彼は神であり、ロゴスであり、神から出た言葉でした。いつ、それは地球に繁殖し始め、そしてそれは海洋生物を生み出しました。神の御霊、ロゴス、神が「そこにあるように」と言われた言葉、そして言葉であるロゴスがそこに行った時。そして、みことばが始まります…」これはすべてロゴスにあったからです。あらゆる時代の神の言葉全体、聖書全体。そして、ロゴスが地球に息を吹き込み始めると、海洋生物がやって来ます。そして、鳥の生命、動物の生命まで積み上げていきます。そして最後に、表現の中に何かがあるか、それを醸造していたもののように見え、それを陰気に思っていました、神、まさに神のイメージの人。

その男は種が落ちなければならぬように落ちました。そして、墮落の後、神はそのことを深く考え始めました。彼はエノクをたて、エリヤをたて、モーセをたて、預言者を次々と立ち上げ、その似姿を再び取り戻そうとしました。そして、ついに、地上に再び神ご自身の真のイメージ、つまり神が現れ、ロゴスは肉体を取って、私たちの間に宿られました。

同じロゴスが一部を持っている今、彼は花嫁を持っておられるのです、そして同じロゴス、改ざんされ得ないこの言葉は、今日の教会の事を深く考えがっかりされ、言葉を完全な形に戻そうとしておられるのです。預言者はその子孫の担い手であり、教会の宗派が今や種の担い手となっています。さて、すぐに気づいてください、しかし、殻から取り出された抱擁のように、今種子を保持し、そのことによってそれは彼女を離れるのです。

36 イエスは神でした。彼はそうでした。彼の父は偉大なロゴスそのものでした。そして、彼は預言者だったので、モーセにすべてを注ぐことはできませんでした。

そして、主の言葉は常に、決して失敗することなく、預言者に届きます。聖書の中に、あるいは聖書以来、みことばの正しい解釈が神学者に来る場所も時もあります。それは聖書にはありません。パリサイ人もサドカイ人も、神は彼らから預言者をよみがえらせたり、この終わりの日に神は決してしませんでした。

彼らがそれを上げるとすぐに、彼らは皆集まってそれから組織を作り、そこでそれは死にます。しかし、彼がこれをしたのは目的のためです。私たちはそれを説明しようとし、神は私たちを助けてくださいます。注目してください、彼女、教会、種子が子孫そのもののようにどれほど近くなるかをここで見てください。

37 さて、種子が地面に落ちたとき、それが元の種子であることに気づきました。それが出てくるとき、それは生命を生み出します。しかし、小麦の種から生命は何をするのでしょうか？そのとき、同じ小麦の茎や同じ粒の小麦を生産するわけではありません。それは小麦の命ですが、それは運搬段階にあります。そして、それはルターが混沌の闇から出てきたときの最初の改革でした。それは死ななければなりませんでした。

38 何度も、人々は同情します。ああ、そして私は少し前に、あなたを神から遠ざけようとするこれらの現代の哲学者の何人かによって与えられた「沈黙の神」という本を読みました。神の言葉と神の計画を知らなければ、簡単に動揺する可能性があります。しかし、神の計画、神のプログラムが分かると、信仰によってそれが神であることを知るのです。そして神はご自身を識別し、彼がしたことと同じことをしました—他の時には、歩き、証明しました。

それがモーセを揺さぶることができなかつた理由です。彼は神と向かい合って話しました、そして神は彼に言いました、「私はアブラハムと一緒にいたものである。この約束をしたのは私です。私はあなたと共にいるであろう。」では、どうやってその男を止めるのですか？

昔の預言者が言ったように、「ししがほえる、だれが恐れなくていられよう。主なる神が語られる、だれが預言しないでいられよう？」この時に神が約束された事柄を見ると、それが展開するのを見てください。それが神の道であるとわかる時、どのようにあなたはじっと立つことができますか？彼が言われたこと、それは必ず起こるのです。不思議なことをすべて見てください、しかしそれはまさに神がそれが起こると言われた方法です。

39 さて、担い手である「彼女」に注目してください。さて、ハガイは茎として出てきて、それから花粉が来て、それから殻が来て、それから種子が来ます。さて、これらの担い手たちを見てください、私はあなたに最初に見て欲しいです。

さて、茎は種子のようには見えませんが、種子にあった生命は茎の中にあります。それがルターでした。さて、小さな茎には多くの葉があります。それはルターからツヴィングリへ、そしてカルバンや他の多くの人々へと降りていきました。

40 ここで、位置が変わったことに注目してください。自然が太陽のように神の言葉に形成されるのを見てください。死、埋葬、そして復活。それから花粉が来ます、それはウェズリーでした。そして、そこにはたくさんの小さな花粉がぶら下がっていました。それは実際には、小麦やトウモロコシの葉よりも種子のようには見えませんでした。もっと似ているように見えました。なぜなら、ウェズリーは第二の言葉、第二の神の言葉を持って、彼の教会を立ち上げ、聖化によってもたらされるからです。それが彼のメッセージでした。大丈夫です。

それからしばらくすると、それは落ちて再び茎に入り、トウモロコシの穂を出しました。しかし、この耳が始まる前に、震え、殻をむき、覆い、殻がありました。そして、どんな小麦の飼育者、トウモロコシの飼育者でも、そこを掘り下げて、トウモロコシの穂または小麦の穂を選ぶとしたら、あなたはその小さな物、つまり最初の小さな物は小麦の粒だと思ってしまうでしょう。しかし、今、ペンテコステ時代があります。今、あなたは、あなた、どんな神学者や…もできません。

むしろ、歴史家なら誰でも、それが時代であり、彼らが来る方法であることを知っています。黙示録を取り、教会の時代を取り、それが彼らが展開する方法と正確に一致していないかどうかを確認してください。

41 さて、ウェズリーからピリグラムホーリネス派、ナザレ派、そしてそれらすべての小さな聖なる教会が出てきました。ルター派の改革よりもはるかにみことばに近いものでした。しかし、ルターが組織したとき、それはちょうどそれらの葉が出始めたところだったのです。そして、これが現れると、すべての御霊がそのルター派教会を去り、宗派だけを除いてすべて、そして本物の真の信者たちは聖化に入りました。

そして、聖化が移り、ピリグラムホーリネス派など、そしてすべてのホーリネス派の組織、ナザレ派などが移ったとき、それはそこから、このペンテコステ派の時代へと移りました。そして今、小麦のその小さな粒を見てください、それは茎がしたことや花粉がしたことよりも、地面に落ちた元の小麦に百万倍似ています。しかし、座ってガラスの下に置き、それらの小さな殻を開けると、それらは単なる運搬者でもあります。穀物はまだ始まっていません。すぐ後ろにある小さなつぼみです。大きな強力なガラスが付いているので、ピンポイントのような小さな先端に種が来るのがわかります。そして、これは本物とまったく同じように見えるこの殻です。それは本物ではありません。それはただの子宮です。

42 マリアの子宮(胎)のように。ここでの茎の表現では、マリアは種ではありませんでした。彼女は他の人たちと同じように、ただその運搬者(担い手)でした。しかし、この目的のために、神ご自身によって最初に呼ばれ、選ばれたので、私たちのカトリックの友人が考えるように、彼女は神の母であるように見えました。いいえ、彼女は神の母ではなく、神の種でもありませんでした。

女性が卵を産みます。神は命を生み出します。血であるヘモグロビンは男性の性別の中にあるのです。

雌鶏は産卵し、または、鳥は産卵することができ、春には巣を作りますが、その雌の鳥が雄の鳥と一緒にいなければ、孵化することはありません。死んでいます。巣の中で腐ります。

私がよく言っているように、それが今日の教会の問題です。彼らはメソジスト、バプテスト、ペンテコステ派などと呼ばれる巣の中で腐っています。彼らがみことばそのものと接触していない場合、彼らは自分たちの組織の巣の中で腐敗します。

43 さて、今、彼らの何人かは、プロテスタントは多かれ少なかれそれがマリアが卵を生産したと信じていると言います。もしそうなら、あなたがエホバなる神に何をさせているか見てください。卵は感覚なしでは生産できません。

ですから、神が精子と卵子の両方を造られ、マリアの胎内で造られました。そして、その人はただの神ご自身が肉体を作り、私たちの間に住まわれたのです、インマヌエル、ただの立派な人、預言者ではありませんでした。彼は立派な人であり預言者でした。教師でも神学者でもありませんでした。ああ、彼はそうだったかもしれません—彼はそのすべてだったかもしれません。すべての者の内の全てであられました。しかし何よりも、彼は神ご自身でした。聖書は「私たちは神の血によって救われている」と言っています。神ご自身であり、第三者や二人称ではありません。人、神ご自身、偉大なエホバがマリアに影を落としました。そして創造主、そして血球、生命、そして卵の両方を創造しました。

44 あなたがユダヤ人にそれを見てもらうことができるなら、あなたは…彼は救世主が誰であるかを知っています。そのジョン・リンがベントン港で癒されたときまで、40年間盲目でした。そのラビは私に尋ねました、彼は言いました、私は彼とのインタビューをしました、彼は言いました、「あなたは神を3つに切り分けて、彼をユダヤ人に与えることはできません。」

私は言いました「彼らの中にはそうしている人もいますしかし、私たちは神を3つに切り分けません。」私は「預言者を信じますか?」と言いました。

「確かに、私は預言者を信じています」と彼は言いました。

私は言いました、「イザヤ9:6、「私たちに子供が生まれた」とイザヤは誰について話しましたか?」

彼は「なぜ、それは救世主だったのか」と言いました。

私は「メシアは神とどのような関係になるのでしょうか?」と言いました。それで終わりです。私は今言いました…

彼は「彼は神になるだろう」と言いました。

私は言いました「まさにその通りですその名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。

45 道の両側で、ワンネスがそれを逃したところ、三位一体がそれを逃したところがあります。しかし、幸せな媒体はその中間にあります。もし神が彼自身の父であることができれば、イエスが彼自身の父であるならば、彼はそうすることができませんでした。そして、もし彼に神のほかに別の父がいて、聖書が「聖霊」が彼の父であると言っていて、彼らが二つの異なる霊であるなら、彼は私生子でした。そうです。彼の父、神、聖霊のどれでしたか?あなたは1つ言って、どれほど恥ずかしくなるかを見てください。神は彼の父でした。そうですか?[会衆は「アーメン」と言います。—編集]

46 マタイ1:18、彼は言った。

イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。

さて、彼の父は誰ですか?ほら、何を言わんとしているか分かりますか?注目して下さい。

夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようとした。

見よ、彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは…よるの

である。…[会衆は「…聖霊」と言っています。—編集]

47 私は彼らが「父なる神は彼の父である」と言ったと思いませんか? ああ、神学者、あなたの悟りはどこにありますか?

「夕暮れ時に光があるであろう!」に注目してください。

真の種子マリアから出てきますが、それは彼女の子孫ではありませんでした。彼女が「主のはしためである」と言ったのは神の約束でした。命の担い手は女性でした。そして今、マリア その子孫はとても近くにいるのです。

ハガイはそれを正道から外れた方法で受け取らなければなりません。サラはそのことを疑って、それを自然の種、性的欲求にもたらしめました。しかし、マリアは性行為を全く持たずにみことばを信じ、みことばは肉体にされました。

48 しかし、注目してください、マリアはとても近くにおいて、彼女は彼女の胎内でその種子を持っていました、そしてそれは彼女の子孫であるかのように見えました。ペンテコステ派もそうです。家に帰ります。しかし、覚えておいてください、イエスはマタイによる福音書第24章24節で、「終わりの日には、ふたつの霊が…」と言われました。初期の頃ではありませんでした。「後の時代には、可能であれば、選ばれた人々を欺くほどに、2つの霊は非常によく似たものになるでしょう。」ペンテコステ派の霊は、本物とまったく同じで、可能であれば、選ばれた人を欺くほど完璧なのです。

さて、それは私の言葉ではありません。それが彼が言われたことなのです。さて、しばらくすると、多分私が何を言おうとしているのか理解できるかもしれません。さて、その種子は確かにもっとよく似て見えました…

その殻は、花粉よりも茎よりも多くなるまで、種子のように見えたが、それらは種子の運搬人にすぎませんでした。ほら、ルターが組織し、茎が死んだ。ウェズリーが組織し、花粉が死んだ。ペンテコストが組織され、命が死にました。そして今、種子が出てきます。種子より先に行くことはできません。

49 何年にもわたって、大きな動きが起きたとき、そのすぐ後ろに組織が来ることに注意してください。約3年がリバイバルが続きその後、彼らはそれを組織化し、組織を作ります。それから多くのものがなければなりません。ルターの多くの人のように、刃。そして多くは花粉から離れたウェズリー。そしてペンテコステの葉が出て行く、ワンネス、ツーネス、スリーネス、フォーネス、ファイブネス。ああ、憐れみを! 分かりますか?

しかし、注目してください、イエス・キリストの20年が現れました! 一つの組織が引き起こしたことも、そうすることもありません。後のすべての雨の動きのように、そして他のすべてのようにそれは死ぬでしょう。これが終わりの時、種であり、それは殻の相続人ではありません。イシュマエルがイサクの相続人であったにすぎません。

彼女がどれほど近くにおいて、欺くのに十分近いかを今ここで見てください。ルター、茎;、ウェズリー: 房。そしてメアリー、殻、または子宮、またはペンテコスト。どうすればあの小屋でここに行き、あなたに見せることができるでしょうか。時代を超えて、今のようになるまでこれほど近づくことはありませんでした。すべてが教会、その教会、ほら「彼女」です。

そして、最初の約束を疑ったのは「彼女」だったことに注目してください。神が御言葉を取り戻されたのではありません。神は今日、御言葉を取り戻されていません。彼は彼の元の言葉を確認しています! しかし、サラは言いました。多分、疑ってはいますが、待っています。」

50 それが今日の人々の問題です。あなたは自分が何に登っているのかわからない何かに登ろうとしているのです。自分が何をしているのかわからない限り、どのようにそれを行うのですか? 目隠しをして歩いていますか? 自分が何をしているのかわからないことに登ろうとすると、倒れてしまいます。「盲人が盲人を導くなら、彼らは両方とも溝に落ちます」とイエスはその引用をしました。

51 しかし今、私たちは種の時に立っています。今、種子は保持します、(何?) サポート、それを保持している種子と協力します。それを保持するために、その目的のためにそこに設置されました。

なぜなら、春先に太陽が昇ると、小麦の上で、季節のロール、日中のロールを通して、自然全体が神と共に完全に正しく転がるのを見るからです。さて、その暖かい太陽が種子を照らし始めると、それが発生しま

す。しかし、その種子を土から飛び出させるには、世界は特定の位置になければなりません。それはこの方法でやって来て、その種を出させるために特定の位置に着かなければなりません。暗黒時代からそれを取り戻すために、それはそのように来なければなりませんでした。

52 何人かの人々…私が言ったこの批評家は「沈黙の神」という本を書いた、「暗黒時代全体を通して、かわいそうな殉教者たちがしに、彼らは降りて行って、彼らクリスチャンと紙は天一緒に座っていると彼は言いました。懸念している。」つまり、もし彼の目が開かれさえするならば、貧しく文盲で、盲目で、霊的に盲目の男！種子が再び現れる前に、種子が土の中に横たわり、死んで腐敗しなければならないことをご存知ですか？

そして、ペンテコステの教会は初期のカトリック教会を通して死にました。そして、彼女は茎の形でやって来ますが、ルター派、ウェズリー、ペンテコステ派の時代を通して、彼女がそれぞれにどれほど密接に形作られているかわかりますか？分かりますか？[会衆は「アーメン」と言います。—編集]

53 さて、それは彼が地上でここに持っていた元のミニストリーにまっすぐに戻らなければなりません。なぜならそれは花嫁だからです。彼らは1つです。さて、彼は終わりの時に、これらのことがどのように起こるかを約束しました。そして、すべての約束のように、マラキ書4章、ルカによる福音書17:30のように、それらが起こっているのが見えます。ああ、あといくつの聖句、それは終わりが無いものになるでしょう！

そして、ああ、私は遅くなっているので、やめなければなりません。ええ。大丈夫、あなた—あなたは彼らに言います、彼らができるかどうか見てください…あなたは彼らに尋ねて、見て、そしてあなたは私に言ってきてください。さて、ちょっと待ってください。これをすごく分かりたいのですね。私—これを皆さんにすごく理解して欲しいのです。ほら、イエス…花嫁に注目してください。

54 それでも、この時代に私たちが今生きていることがわかります。ペンテコステ派の組織である子宮が本物とまったく同じように見えたのです。しかし、黙示録17章で最初の組織であるローマカトリック教会が「大淫婦」と呼ばれていることに気づきましたか？それが本当だと知っている人は何人いますか？彼女が淫婦の母であることを知っている人はどれくらいいますか？不道德な女性とは何ですか？さて、彼はこの女性が「教会」であると言いました。淫婦とは何ですか？彼女の結婚の誓いに真実ではない女性です。娼婦とは何ですか？同じこと、同じ言葉。

今、彼女は出産しました。どんな種類の誕生？みことばではなく、組織の誕生です。ここにメソジスト、バプテスト、ペンテコステ派がいます、そして彼らは皆彼らの母親の習慣を取りました。カリフォルニアのどんなおかしな女性でも、処女の女の子を産むことができます。それが最初のメッセージが出てくる理由ですが、ルターの時代に聖化の真実が提示されたとき、彼はそれを受け入れることができませんでした。聖霊のバプテスマが許可され、メソジストに提示されたとき、彼らはそれを受け入れることができませんでした。そして今、種子の時間がペンテコステを生み出したとき、彼女はそれを取ることができません。彼女は組織化されています。しかし、彼女は種子の運搬人でした。

[兄弟が別の異言で話します。テープ上の空白のスポット—編集]アーメン。さて、それについて主に感謝します、みことば、言われたみことばの単純さ。

55 ほら、これは、トウモロコシが成長するのを見るのと同じように、単純なことです。あなたはそれについていくつかの素晴らしい神学的解釈をする必要はありません。ただそれを見てください。あなたは…彼はいつもあなたの周りにいます。ほら…それは…

私はやめなければなりません。私は少し引っ張られたのを感じ、彼にそうするように頼みました。終わらせなければなりません。さて、兄弟、これだけの発言、それから私は行きます。

ほら、今。殻や茎などは、みことばの担い手にすぎません。彼らは降りるまで、みことばの一部を持っていました。ペンテコステによる義化、聖化、賜物の回復。しかし、今気づいてください。イシュマエル、イサクと同じように、ほら、そしてイエスに。ほら、一人は狂わされたもので、もう一人はオリジナルでした、そしてここに種子そのものが来ます。分かりますか？さて、教会は同じことから来ました。花や他のもののように、それは飲み、引き込み、そして行きます…

56 それはルター派が失われたという意味ではありません。聖化を拒否したルター派は、何かを握りしめたのです…ほら、イスラエルは毎晩新しいマナを食べていますね。注目してください。

しかし、今、終わりの時に、ここでこの殻を見てください、今気づいてください、小麦の中に。生命の完全な謎は、その殻の中に封印されています。私たちはそれをルターで見えています。私たちはそれを房で見、出てきます。莖に見られます。私たちはここにやって来て、今ではペンテコステ時代のように殻の形になっていますが、本当の謎は中に隠されています。

57 さて、黙示録によれば、本の謎全体が七つの封印で封印されていることを覚えておいてください。改革者には、改革の4つの段階、4つの獣の4つの段階が会うために出て行ったのです。世界の4つの力。最初に出かけたのは…

最初に出かけたのは何でしたか？ローマ時代で会う、獅子。それがオリジナルの御言葉でした。彼はユダの部族の獅子なのです。キリストご自身がその時代に会いに行きました。次に会いに出かけた動物は何でしたか。次の動物は他の乗馬者に会うために出かけた、彼は何でしたか？ほら、最初の騎手は白い服を着て、後で頭に冠をかぶっていましたが、弓には矢がありませんでした。

58 2番目に出て行った馬に注目してください。彼に会いに行った獣は牛でした。牛は犠牲の獣です。彼らは暗黒時代に殉教しました。

次の馬に会いに行った3番目の獣、死の馬が乗る前に、死と地獄、次の馬は…その日の騎手に会いに行った次の獣は、男の顔をした獣でした。何人がそれを知っていますか？知性時代、改革者、ルター、ウエズリー、カルバン、ノックス、フィニー、ムーディー。分かりますか？

しかし、気が付いてください、夕暮れには何が起こったのでしょうか？[ある兄弟が「ワシ!」と言います。一編集]ワシ、再び予言的に戻った。生きとし生ける神の教会よ、それは驚の時、あなたがきつと見つける栄光への道についての光となるでしょう!

59 私はここに来て、そしてただ朝に座って、一日中滞在して、これらのことについてあなたと交わりたいと思っています。聞いてください、私があなたを好きではないと思いますか？兄弟よ、私はあなたを愛しています。私一私一私はすべての組織に行き、協力したいと思います…そして一そしてそれぞれを信じています。しかし、お分かりのように、それはできません。私に開かれた扉はほとんどありません。

私は今、組織のせいで国に足を踏み入れています。なぜなら、彼らはその神のミニストリーを許さないからです…私は彼らに手紙を書き返しました、私は言いました。「10年間、私は入ろうとしました。そして、あなたはあなたの狂ったバプテスマを持っています!」

そのうちの一人は、「あなたは3回バプテスマを受けなければなりません。一度は父のために、一度は息子のために、そして聖霊のために。正面を向いてください。」もう一人は言いました、「いいえ、あなたは3回逆にバプテスマを受けなければなりません。一度は息子のために、一度は父のために、そして聖霊のために。」そして、それらは両方とも間違っています。

ある人は言いました、「彼、あなたは彼の死にバプテスマを受けています、そして彼が死んだとき彼は前に出ました。私たちは彼の死にバプテスマを受けています。」もう一人は言いました、「誰が彼の顔に男を埋めますか？あなたは彼を後ろ向きに埋めます。」そのようなナンセンスな、人々を分離することは、それが嫉妬していることを示しています。サタンからです。それは神のものではありません。

両側の真ん中で、神はどちらの側にもいませんが、神は両側から「彼らの中から出て、あなたがたは離れてください」と呼びかけています、と神は言います、「私はあなたを自分自身に迎えます」。神はあなたを祝福します。



伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランハム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7